

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和3年12月17日(金)
午後1時30分から午後2時40分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子
- 7 会長あいさつ
- 8 報告事項

(1) 各チームの現況報告について
特になし。

(2) その他
特になし。

9 協議事項

(1) ふれあいトーク記録書について

鬼頭会長：10分間休憩を取るので、内容確認を。

(精読休憩)

宮川議員：犬山線が不通になったときの代替輸送だが、バス代行輸送は名古屋鉄道が既に設定している。過去に何度もあるが、名草線を経由しながら、各駅をまわっていくのだが、手配からバスが到着するまでに1時間、岩倉から犬山まで2時間かかるので、計3時間。夕方のラッシュであれば列車1本で2000人程度が乗車されているため、バスを待つよりも、2時間程で復旧するので、復旧を待つ方が早い。東海豪雨の時は、3日間不通だった。そういう状況下で何が最善かを考えて提案しないといけない。制度としては既存である。

鬼頭会長：その情報については、どうですかね。これ付け加えるわけにはいかないのでは。

大野議員：バス輸送があることは私が話したので、記録書に追加しては。

鬼頭会長：今、宮川さんが言っていた大まかな内容をここに付け加えておくということよろしいですか。バスの代行輸送の制度は有りますということ。

大野議員：そうすると、有事の際、電車に代わる規模の代替のバスが用意できないと思われるというのを消してそれを入れなければいけない。

榊谷議員：この時に話したわけではないので、わかるように記載しなくては。

片岡議員：代替え輸送は仕組みとしてはあるが、有事の際に電車で代わる規模の代替えはできないと思います、という発言だった。仕組みとしてはあるが、と付け加えてもらおうといい。

宮川議員：制度はあるが、例えば大規模災害の発災時に岩倉市として交通手段をどこかで考えていく必要性はあると思う。先の私の発言は、現状の情報提供なので、議会として考えるのは別の次元だと思う。

木村議員：まとめた人がグループ毎に違うので、1回目と2回目で分けて記載している人と、まとめている人とあるので、どうやって統一するかは課題だと思う。同じ質問はまとめるよう統一してはどうか。

鬼頭会長：同じ質問はまとめることにする。そのほうが分かりやすいので編集する。

梅村議員：最後の総まとめは何だった。

鬼頭会長：グループトークが終わったあとに時間がなくて、市民活動団体のほうで、初めて参加された方にどうでしたかと意見を求めた。一人にしか聞けなかった。もう一度編集してレターケースに入れるので確認を。何もなければホームページに公開する。

大野議員：オンラインの意見交換会で、市民活動支援センターの方がファシリテーターをやると聞いていたが、グループによっては、そんなことは聞いていない、と言われる事例があった。ちゃんと調整してほしい。

鬼頭会長：しっかりと打合せするようにする。

（2）ふれあいトークの開催について

鬼頭会長：来年以降の開催形式について、決めておきたい。感染状況が落ち着いているので、議会報告会は対面にしてもよいのではないかな。

大野議員：場合によっては同日に2グループにわかれて、南部と北部で開催するのはどうか。議員が15人いるせいで密になっては本末転倒。

黒川議員：対面だと言われたけれど、今後の予測はますます立ちにくいし、専門家によると年明けの第6波が予想されているし、オミクロン株の市中感染の可能性もある。それを見ながらの判断となると、事前の準備は難しい。安全が第一だ。場合によっては、昨年と同じようにホームページで意見を求めていくとか、オンラインと2通りの案を持っておいてはどうか。あまり先のことを決めてしまえば、身動きが取れなくなる。

鬼頭会長：2、3通りのパターンを考えておくことも視野に入れたい。対面だと、例年議会報告会は、予算の前にやっていた。3月定例会の前の2月に実施してきた。開催するなら2月で議会が始まる直前。来年だと、2月19日（土）になるかと思う。

黒川議員：開催するにも様々な方法があり、総務・産業建設常任委員会と厚生・文教常任委員会で行っている政策提言の進捗を報告して意見をいただくこともできる。

片岡議員：総務・産業建設常任委員会では、委員会で選定したテーマと市民からいただいた意見を検討しており、3月定例会で委員会代表質問を行うことを目指している。これを題材とした委員会での意見交換会も一案だと思う。

大野議員：厚生・文教常任委員会は、年明けに協議会を開催する。

鬼頭会長：例年通りの方法がいいのか、各常任委員会で発表する方法がいいのか。

大野議員：予算審議前に意見を聞いているのは全国で岩倉市議会だけなので、両方のテーマで実施しては。

黒川議員：あれもこれもなんて無理。選択して絞り込んでやったほうがいい。

鬼頭会長：対面での実施が可能という前提なら、他はどうか。

水野議員：それぞれについてオンラインでの実施も検討してほしい。

鬼頭会長：オンラインでの実施はできないわけではない。前例がないので心配のところがある。しかし、オンラインであれば感染状況に関わりなく開催することは可能。

議会事務局長：Zoomのライセンスがないので、30分以内でという話でないのなら、オンライン開催は無理である。

谷平議員：スキー教室等、様々な市の行事が中止になっている中、ふれあいトークを対面開催すべきではない。

大野議員：Zoomは聴いているだけならいいが、例えば30人だと1画面に映らないのでグループ分けをするが、意見交換には向かない。

片岡議員：告知を広報2月号に載せようと思うと、期限が間近だ。

鬼頭会長：オンライン開催が今年度は難しいとなると、対面か、昨年度同様のホームページにおける意見募集か。

水野議員：対面で開催すると、今後の情勢によっては中止になる可能性がある。中止の時の周知方法も考えておかないといけない。

関戸議員：対面で実施するなら、感染対策を徹底的に考えなくてはならない。常任委員会だけでなくもっと細かく4回くらいに分けて、短時間、換気の良い所など、感染対策を確立させるなら対面だけの開催もありかと思う。

大野議員：過去の議会報告会は各区長に依頼したり、新聞の折り込みに掲載してもらったり、告知の方法は広報に載せられなくても直前で対応可能。

黒川議員：平常時はそうだが、新型コロナウイルスに関しては今後最悪の事態を考えて行動しなくては、支持は得られない。区長だって、告知してい

いものか迷うだろう。2月の状況は誰にも予測はできないが、最悪の事を考えながら対応していかないと、議会の資質そのものが問われる。甘く考えないほうがいい。

片岡議員：選択肢は、オンラインかホームページで意見募集かと思う。オンラインは難しそうだが、細切れにすればできるかも。ホームページは、前回沢山の意見をいただいた。テーマ設定をしっかり行えば、ちゃんと意見をいただけたらと思ったので、有効だと思う。

鬼頭会長：対面は見送ることでよいか。意見は。

(挙手する者なし)

鬼頭会長：では対面での実施はなしとする。オンラインかホームページか。

宮川議員：そもそもふれあいトークを開催することにしたのは、議員が井の中の蛙にならないよう、市民の意見を聞くべきだから。予算審議の前にやり始めたのも、結論を出す前に意見を聞こうという意図だったが、そのせいで期間が限定され、そのせいで広く意見を聞くことができないのなら再考すべき。始点から終点までの時間がかかったとしても、ファックスでもいいからくださいと広報して、それを受けて議会でちゃんと話しあって何らかのかたちで市民にお返しをするということのほうが元々の考え方に沿っている。本来の考え方を逸脱しない最善の方策を考えたほうがいい。

鬼頭会長：今年も昨年と同様の形式で、議会だよりに掲載していくことでもいいか。改善点があればまた言ってほしい。

片岡議員：昨年と一緒と言われたが、去年はどのようなようだったか。

鬼頭会長：去年は、確か前もっていただいてその内の何個かを出した気がする。

大野議員：2月の全員協議会でもらう資料からいくつかピックアップした。

木村議員：議会だより2月号には、昨年同様に意見募集をします、とだけ記載しておいて、この時期にホームページでこの問題について意見をもらいたいということを発表しますので。

鬼頭会長：確か去年もそういったかたちだった。ではサポーターとの意見交換会はどうか。毎年1月の終わり頃に開催していた。今年は人数が少し多い。平日の午後と土曜の午前の2回に分けて開催しているが、どうしても土曜日のほうが多くなる傾向がある。日程はどうするか。

(日程調整)

1月26日(水)午後7時：梅村(司会)、宮川(記録)、堀、榊谷、井上、片岡、関戸 (※後日1月27日に変更された)

1月29日(土)午前10時：谷平(司会)、水野(記録)、黒川、大野、木

村、須藤

※正副議長は2日とも出席

※マイクを用意する

榊谷議員：前は感染状況が下火だったが、マイクの使いまわしに対する配慮をしてほしい。

鬼頭会長：ハンドマイクでやるようにするのか、それとも委員会室用マイクを用意していただくか。2人に1台でもいい。事務局に負担はかかるが。

井上議員：手伝わないといけないのでは。

大野議員：基本的にマイク回しが駄目だというのは、手の持つ部分が駄目なわけで、本来、マスク外す時に消毒して回すと言っているので、マスクが有る時は持ち手の部分の消毒がいきますけど、基本的には消毒しない。

鬼頭会長：入り口で消毒するので、よほど危険なことは無いと思う。念のため、持つところを消毒して別の方に回すくらいか。とりあえずハンドマイク中心で、委員会室用マイクが準備できるならこれを使い、これを使えない状況ならハンドマイクを使うが、必ず手指消毒をしながらとする。

(3) サポーターの声について

鬼頭会長：3件いただいており、要回答が1件ある。議会運営委員会で回答の作成をよろしく。

大野議員：保健センターの1階フロアが暗いというのは本当に私もそう思うが、上の三つは政策提案の類で議会として回答できるのか。政策サポーターではないのだが。

鬼頭会長：取扱いは議運で協議を。

(4) 視察の受入れ開始について

鬼頭会長：犬山市議会に前回の質問を確認した。受入れに際してPCR検査やワクチン接種済みの確認はしていないとのこと。4人の根拠は、会食が4人までとの基準によるもの。オンライン視察に関する規程は特になしとのこと。意見はあるか。

(挙手する者なし)

鬼頭会長：今後、徐々に受入れしていこうということでいいか。今、ホームページでは受入不可となっているが、全面的に開放するというよりは視察の受入れはお問い合わせくださいと告知していく。受入れまた行く場合、相手の都合もあるので、この規程に従って動いていきたい。

(5) その他

特になし。

10 その他

次回 1月20日(木)午後1時30分から